

2026（令和8）年9月29日

報道機関各位

（公財）アイヌ民族文化財団

丸木舟のデジタル技術活用による新たな展開 ～文化・教育・地域産業が連携する共創プロジェクト～

公益財団法人アイヌ民族文化財団（札幌市中央区、常本照樹理事長）が運営するウポポイ（民族共生象徴空間）は、独立行政法人国立高等専門学校機構 苫小牧工業高等専門学校（以下「苫小牧高専」）および地域の造船会社と連携し、実物の丸木舟から3Dデータを取得し、小型模型の製作や性能検証を行います。

これらの取組を踏まえ、将来的には実寸大等の丸木舟を製作し、ウポポイにおける新たな体験コンテンツの創出を目指します。

本プロジェクトでは、現存資料が少なく、文化財として保管・展示されている実物の丸木舟から3Dデータを取得し、その小型模型を精緻に再現します。

小型模型の設計・製作には苫小牧高専の学生が参加し、実践的なデジタルものづくりを学びます。また、地域の造船会社には専門的知見を生かした技術助言や製作協力をいただきます。完成した模型の3Dデータ等を用いて舟の性能検証を行い、その成果を踏まえて、将来的には実寸大等のFRP製丸木舟の製作を目指します。さらに、FRP製丸木舟を用いた新たな丸木舟乗船体験プログラムの実現も視野に入れています。

本プロジェクトは、ウポポイを中心に、文化継承・人材育成・地域産業連携を推進する新たな取組であり、デジタル技術を活用した文化資料の活用の可能性を広げるとともに、学生の実践的学びや地域連携の深化が期待されます。

▼キックオフミーティング

日 時： 2026年10月5日（月） 10:15 ～ 12:30

会 場： ウポポイ 工房

出席者（予定）： 公益財団法人アイヌ民族文化財団、独立行政法人国立高等専門学校機構 苫小牧工業高等専門学校（教員及び学生）、株式会社アタカ造船所

内 容： ①プロジェクトの概要説明
②苫小牧高専学生に対するウポポイ及びアイヌ文化に関するレクチャー
③ウポポイ園内視察

▼プロジェクトの概要

- （1）実物丸木舟の3Dスキャンデータを活用した小型模型の設計
- （2）3Dプリンタを活用した小型模型の製作
- （3）模型データを活用した性能検証
- （4）将来的なFRP製丸木舟の製作及び体験コンテンツ化の検討

▼今後のスケジュール

別紙のとおり

▼取材申込み

ウポポイウェブサイト「取材申込み」からお申し込みください。

<https://ainu-upopoy.go.jp/inquiry/press/>

【ウポポイ】日本の貴重な文化でありながら存立の危機にあるアイヌ文化の復興と創造等の拠点として2020年北海道白老町にオープン。正式名称は民族共生象徴空間。愛称「ウポポイ」は「（おおぜいで）歌うこと」を意味する。公益財団法人アイヌ民族文化財団が運営。ウポポイ公式ウェブサイト：<https://ainu-upopoy.go.jp>

【お問合せ先】

（公財）アイヌ民族文化財団 民族共生象徴空間運営本部 誘客広報課 松橋

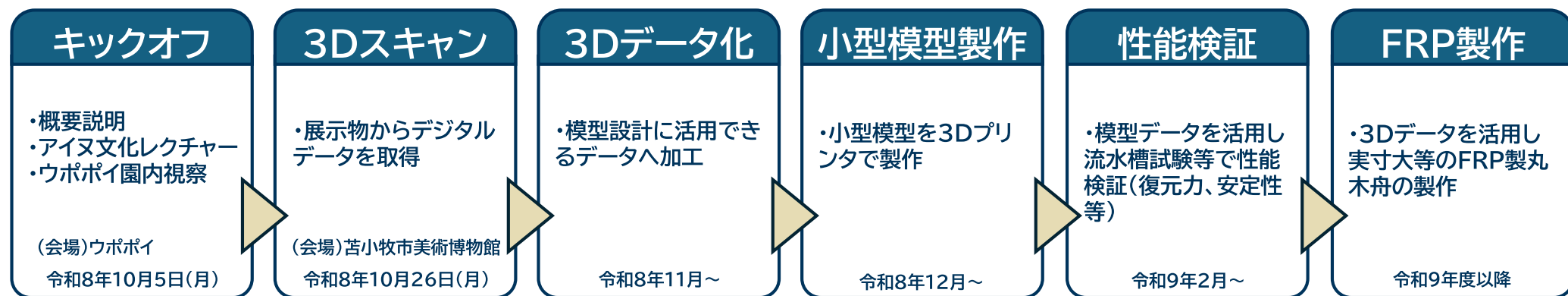
E-mail submit@ainu-upopoy.jp TEL 0144-84-7318 FAX 0144-82-3685

アイヌの丸木舟再現プロジェクト(文化・教育・地域産業連携共創プロジェクト)



- ・ウポポイ(民族共生象徴空間)は、独立行政法人国立高等専門学校機構 苫小牧工業高等専門学校及び地域の造船会社と連携し、アイヌの丸木舟の再現から体験コンテンツの創出までを見据えた共創プロジェクトに着手します。
- ・現存資料が少ない丸木舟を対象に、3Dスキャンによるデジタル化、小型模型の製作、性能検証を段階的に進め、将来的にはFRP製丸木舟の製作や乗船体験プログラムの実現を見据えています。

●プロジェクトの進め方



将来的に丸木舟乗船体験コンテンツ化につなげる



文化財として展示されている丸木舟
(苫小牧市美術博物館所蔵)



ウポポイ職員による丸木舟操船の様子



職員サポート付き丸木舟試乗体験の様子